

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スクールカウンセラー配置事業			事業番号	038-057
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~		施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進		
			有	取組の方向性	②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5			
			有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン								
3	事業開始年度	平成 18 年度			点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園(148校園)							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■幼児児童生徒・保護者・教職員が、臨床心理に関して高度な専門的知識及び経験を有するスクールカウンセラーの相談を受けることができる体制の充実を目的とし、いじめ不登校問題行動等の早期発見・早期解決に向け適切な対応をするとともに、心の健康を維持できるようにする。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■小学校25校、中学校43校、高等学校1校に週1回スクールカウンセラーを配置し、幼児児童生徒、保護者、教職員のカウンセリングを行う。未配置の学校園には配置校から派遣する。							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	■職務 ・配置校及び中学校においては中学校区内の幼児児童生徒、教職員及び保護者へのカウンセリング ・幼児児童生徒の課題解決に関する学校に対する助言、保護者、幼児児童生徒に対する援助 ・幼児児童生徒のカウンセリング等に関する情報収集・教職員への必要な情報提供 ・所属長（生徒指導課長）又は校長の指示による緊急事態の対応							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	-							
10	公民連携・協働事業	-							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 不登校生徒出現率	%	目標値	3.65	3.94	全国平均値	全国平均値	
		実績値	3.08	集計中			
		達成率	116%	-			
当該指標を選定した理由		■安全安心な学校を評価する指標だから。					
目標値の設定根拠・算出方法		■全国的に増加傾向であるため、全国平均値以下をめざす。(最新の情報を目標値として設定)					
12 スクールカウンセラー配置校数	校		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		目標値	小22校、中43校、高1校	小25校、中43校、高1校	小25校、中43校、高1校		
		実績値	小22校、中43校、高1校	小25校、中43校、高1校			
	達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		■配置校数を指標とすることで、相談体制の充実を図ることができるから。					
目標値の設定根拠・算出方法		■中学校区2名配置をめざし、順次配置。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スクールカウンセラー配置事業	事業番号	038-057
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	73,365	76,698	82,035	80,988	81,879
財源内訳	国支出金	24,454	25,530	27,345	26,272	27,292
	府支出金					
	市債					
	その他 (大規模災害被災地等支援基金繰入金)	728	728	700	728	728
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	48,183	50,440	53,990	53,988	53,859
14	人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	3,280
15	年間経費(c)=(a)+(b)	75,005	78,318	83,675	82,628	85,159

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	R3				R2	R3		
16	スクールカウンセラー報酬	R2	決算	77,866	51,882	いじめ相談先カード印刷	R2	決算	34	23
		R3	予算	77,012	50,614		R3	予算	630	420
	スクールカウンセラー通勤費	R2	決算	2,975	1,984		R2	決算		
		R3	予算	3,623	2,415		R3	予算		
	スクールカウンセラー出張旅費	R2	決算	41	27		R2	決算		
		R3	予算	322	215		R3	予算		
	研修会場借上料	R2	決算	72	72		R2	決算		
		R3	予算	200	133		R3	予算		
	研修会講師謝礼金	R2	決算	0	0		R2	決算		
		R3	予算	92	62		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		①	時間
②	千円	78,318	82,628
③	円/単位	5,622	5,675
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不登校やいじめをはじめ学校が抱えている課題は多様化、複雑化してきており、スクールカウンセラーの需要は高まっている。また、緊急派遣についても増加している。 ■ スクールカウンセラーを配置し、効果的に活用することにより、いじめや不登校等の対応の充実につながっており、今後も本事業の推進は重要である。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不登校やいじめをはじめとする支援が必要な児童生徒数が増加傾向にあるなか、スクールカウンセラーが児童生徒、保護者、教職員のカウンセリングを行うことで、不登校、いじめの防止に向けた取組の強化という目標の達成に寄与していると考えます。
----	--